

平成23年第3回定例会
予算決算常任委員会 提出資料

「みえ県民カビジョン行動計画（仮称）」
《中間案》追加資料
選択・集中プログラムについて

平成23年10月25日

政 策 部

「みえ県民カビジョン（仮称）」の推進にあたり、「行動計画（仮称）」において「選択・集中プログラム」を設けて、厳しい財政状況の中で、計画期間中（4年間）に行政経営資源を効率的かつ効果的に投入していくこととしています。

「選択・集中プログラム」には、「緊急課題解決プロジェクト」と「新しい豊かさ協創プロジェクト」の2種類を設けるほか、「南部地域活性化プログラム」に取り組みます。

「緊急課題解決プロジェクト」は、県政における重要かつ緊急に対処すべき課題を解決するため、行動計画の期間中に重点的に取り組むものです。

「新しい豊かさ協創プロジェクト」は、新しい三重を創っていくため、県民の皆さんとともに、二歩先を見据えて中長期的な観点から、取組を展開していくものです。

「南部地域活性化プログラム」は、過疎化、高齢化が著しい県南部地域を対象に、市町と連携して、若者をはじめあらゆる世代の人々が、この地域で暮らしていくことができるような取組を進めようとするものです。

「選択・集中プログラム」において、平成24年度からの4年間で取り組もうとする政策課題は、次のとおりです。

緊急課題解決プロジェクト

1 命を守る緊急減災プロジェクト（仮称）

大規模自然災害から身を守るため、災害は必ず起こることを前提に「最後には自分たちの命は自分たちで守る」との意識のもと、自助、共助の重要性を再認識し、被害を最小限に抑えるハード・ソフトの取組を重点的に進めます。

2 命と地域を支える道づくりプロジェクト（仮称）

大規模地震や異常気象による集中豪雨等の自然災害の脅威に対して、地域の安全・安心を支えるとともに、北勢地域の産業や伊勢志摩地域の観光など、地域の今ある力を生かした新しい三重づくりを進める基盤として、幹線道路網の整備を重点的に進めます。

3 命と健康を守る医療体制の確保プロジェクト（仮称）

人生におけるリスク、不安要素のうち、医療面での対策を図るため、医師・看護師等の不足・偏在の解消に向けて、医師のキャリア形成支援と不足する病院での医師確保支援を一体的に行う仕組みづくり等を進めるとと

もに、がんによる死亡を減少させるため、予防・早期発見から医療・予後までの切れ目のないがん対策を重点的に進めます。

4 働く意欲が生かせる雇用確保プロジェクト（仮称）

厳しい雇用情勢の中においても、自らの力を最大限発揮することができるように、産業振興と連携した人材育成や就労支援を進めるとともに、未就職卒業生など働く意欲はあるものの就職が困難な状況にある県民の皆さんへの支援を重点的に進めます。

5 家族の絆再生と子育てのための安心プロジェクト（仮称）

新しい三重づくりを担う子どもたちを支援するため、東日本大震災を契機に見直されつつある家族の絆の再生を進めるとともに、就労形態の多様化や子育て環境の変化に対応し、子どもを安心して生み育てられる取組を重点的に進めます。

6 「共に生きる」社会をつくる障がい者自立支援プロジェクト（仮称）

障がい者が地域社会の中で自ら選択し、安心して暮らせるように、障がい者の就労支援等の取組を重点的に進めるとともに、発達障がい児に対する途切れのない支援体制の構築等を進めます。

7 三重の食を拓く「フード・イノベーション」～もうかる農林水産業の展開プロジェクト（仮称）

豊かな地域資源を背景に、三重の農林水産業が今ある力を発揮し、新しい力を開拓することができるよう、国内外に誇れる県産品を積極的に売り込むための営業拠点づくりや商品開発、魅力ある商品が創出される風土づくりなど、三重の強みを生かした「もうかる農林水産業」への転換を重点的に進めます。

8 日本をリードする「メイド・イン・三重」～ものづくり推進プロジェクト（仮称）

経済のグローバル化が進み、国内市場規模の縮小や市場の争奪が激しさを増している中、ものづくりの拠点として、日本をリードしていく役割を果たしていくため、県内のものづくり中小企業の新たなビジネスの拡大に向けた取組を進めるとともに、県内産業の空洞化を防ぐため、海外企業の誘致戦略を重点的に進めます。

9 暮らしと産業を守る獣害対策プロジェクト（仮称）

農山村における安全・安心や産業振興を阻害している野生鳥獣による被

害を緩和するため、野生鳥獣の効果的な捕獲や獣肉の有効利用などの取組を重点的に進めるとともに、森林再生などの生息環境の整備に取り組みます。

10 地域を守る産業廃棄物の不適正処理是正プロジェクト（仮称）

「負の遺産」から地域の暮らしの安全・安心を取り戻すため、過去に不適正処理された産業廃棄物について、国の支援を得て、生活環境保全上の支障がないようにするとともに、新たな不適正処理事案を発生させないように、事業者に対して処理責任を徹底させる取組を重点的に進めます。

新しい豊かさ協創プロジェクト

1 未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト（仮称）

子どもたちの学力の低下が課題となる中、新しい三重づくりを担う子どもたちが、変化の激しい時代を生き抜くために必要な課題解決力やコミュニケーション力等の学力の向上に向けて、学校、家庭、地域が一体となった県民総参加による取組を進めるとともに、教職員の資質の向上等を図ります。

2 夢と感動のスポーツ推進協創プロジェクト（仮称）

平成 33 年の国民体育大会および全国障害者スポーツ大会の誘致を見据え、県民の皆さんが夢や感動を実感できるように、トップ選手の育成や競技力の向上を図るとともに、市町、企業、民間団体等と連携し、スポーツのメッカづくりなど、地域の活性化に向けた取組を進めます。

3 スマートライフ推進協創プロジェクト（仮称）

パラダイム転換後のエネルギーを中心とした暮らしや産業の新しい方向を打ち出すため、県民一人ひとり、事業者、行政等が連携して、省エネルギーの取組を進めるとともに、地域資源を生かした新エネルギーを創出し、事業者のビジネスチャンスを生み出す環境・エネルギー関連産業を振興する取組を進めます。

注) スマートライフ：ここでは、「環境・エネルギー関連分野の技術を活用して、ライフスタイルや生産プロセスなどあらゆるシーンで変革を促し、豊かさをつくり出していくこと」という意味で用いています。

4 世界の人々を呼び込む観光協創プロジェクト（仮称）

平成 25 年の式年遷宮を契機とし、日本の観光の原点とも言える三重の地と自然を生かして、世界からも人々を呼び込むことができるよう、「おもてなし」の心の再発見や、外国人誘客戦略を進めるとともに、裾野の広い観光産業の振興を進めます。

5 県民力を高める絆づくり協創プロジェクト（仮称）

自立し、行動する県民（アクティブ・シチズン）による「協創」の三重づくりを進めるため、県民の皆さんが地域課題の解消に取り組む主体と連携し、積極的に活躍できるように、新たな視点で「美し国おこし・三重」の取組を展開するとともに、NPOとの協働の基盤づくり、高等教育機関との連携による地域課題の解決に向けた取組等を進めます。また、さまざまな事情から社会の中で力を十分に発揮できていない県民の皆さんが、自分らしく生き、社会で活動することができるように、社会全体で支える取組を進めます。

南部地域活性化プログラム

県南部地域では、他の地域に比べて、若者の流出などによる生産年齢人口等の減少が著しく、過疎化、高齢化が進み、財政基盤の弱い市町も多いことから、市町と連携して県南部地域の活性化にむけた取組を進めます。若者をはじめあらゆる世代の人々が、生まれ育った地域に住み続けたいという思いがかなうように、働く場の確保、定住につながる取組を進めるとともに、東紀州地域の活性化に向けた取組や、継続的な基盤整備などの取組を行います。

<対象地域の考え方>

県南部に位置し、地勢的に条件が不利な地域、若者の流出などによる生産年齢人口の減少が著しい地域を中心に、一定のまとまりを持った地域を想定しています。